

# 地域子育てネットワークだより

平成29年 8月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課 電話:(078)341-7711 内線 2875

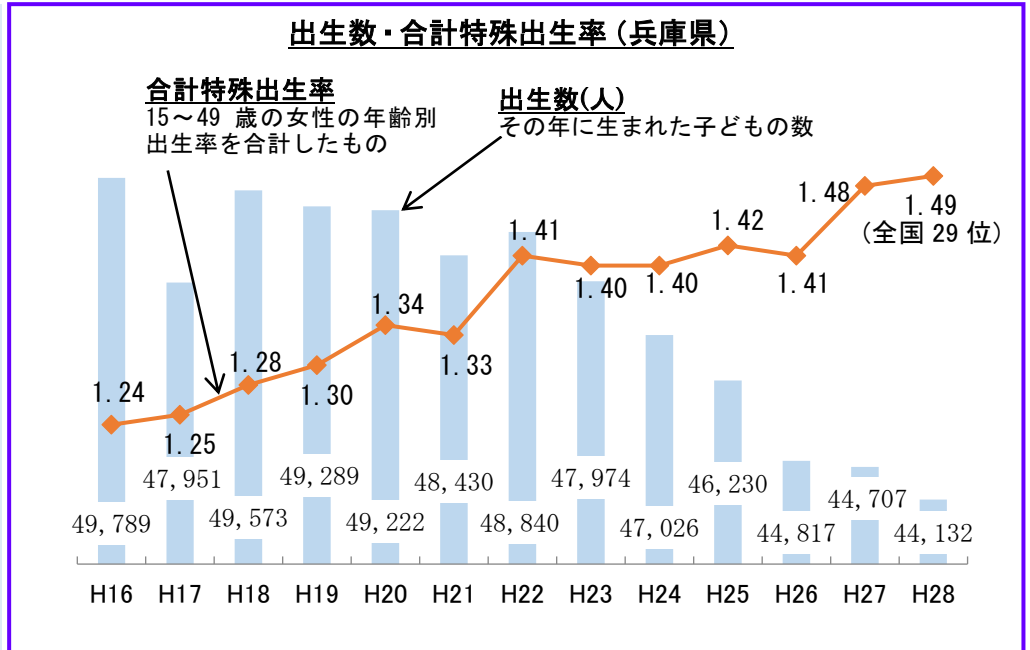
E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html

## 安心して子育てできる社会へ

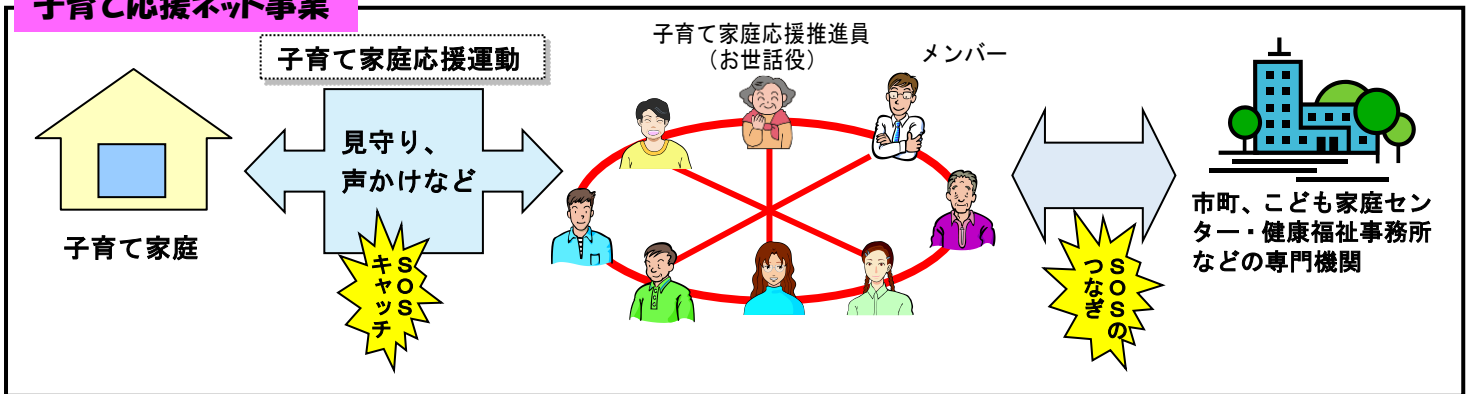
厚生労働省が公表した平成28年の兵庫県の合計特殊出生率(その年の15歳~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの)は、1.49(全国1.45)となり、昨年に比べ、0.01ポイント上昇しましたが、出生数は、44,132人と過去10年で最も低くなっています。

兵庫県では「ひょうご子ども・子育て未来プラン」を策定し、子育て応援ネットの取り組みをはじめ、子育て家庭同士の結びつきや地域とのつながりを強める施策を展開し、安心して子どもを産み育てていけるよう更なる取り組みを進めます。



【資料】推計人口(県統計課)、人口動態統計(厚生労働省)

### 子育て応援ネット事業



兵庫県では、子育て応援ネット事業として、兵庫県地域女性団体ネットワーク会議構成団体(17団体)や、自治会、青少年関係団体、子ども会、PTA等の地域団体がネットワークを組み、子育て家庭への見守り、声かけ、子育て相談、イベント、登下校時のパトロールなどを行う子育て家庭応援運動を展開しています。

また、子育て家庭の親子が発するSOSを子育て家庭応援推進員や活動に賛同するメンバーが受け止め、市町やこども家庭センター、民生・児童委員、警察署等の関係機関へ連絡するなどを行っています。

【問合せ先】兵庫県男女家庭課 TEL:078-362-4185

## 子育て 応援ネットの 活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介いたします。

県が主唱する子育て応援ネットの取組のひとつとして、伊丹市子育てサークルネットワークは、子育て中の親の交流の場として親しまれている子育てサークルの活動を支えています。

サークルネットワークは、活動場所の提供や、備品の貸し出しなど、市と協力した各サークルへの活動支援を行っているほか、月に一度各サークルの代表者が集まり、情報交換をして交流を深めています。

代表者だけでなく、サークルの皆さんが親子で楽しめるイベントも色々と企画しており、毎年夏に行うカップイベントではサークルを卒業した大きいお子さんも参加して、100名を超える規模で盛り上がっています。

他にも管弦楽コンサートやクッキング、親子工作など、参加したサークルの皆さんが元気に、楽しくなる時間をスタッフと一緒に作っています。

伊丹市子育てサークルネットワーク  
代表 北山 美喜子



## まちの子育て ひろばの紹介



子育て中の親と子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合う拠点「まちの子育てひろば」を、まちの子育てひろばコーディネーターが取材します。

地区のボランティアの方を中心に開催されている子育て広場“えがお”は、孤立した親子をつくらない、地域ぐるみで子育てを見守りたいと、親子ふれあい遊びや親子クッキング、季節行事など月1回開かれています。このひろばは、地域の中で、貴重な情報交換や仲間づくりの場となっています。

私が訪問した日は、ひろばアドバイザーによる親子体操が開催されていました。和やかな雰囲気の中、子どもたちはお母さんと一緒に声を上げながら本当に楽しそうに体を動かしていました。その中で、大きな子が小さな子のお世話をしている様子もほほえましく、ひろばが育む効果を改めて感じることができました。

「みんなのえがおが集まって楽しく子育てができるよう願って“えがお”と名づけました。」との言葉どおりの素敵なひろばです。

【取材：中播磨県民センター

まちの子育てひろばコーディネーター 森井】

ひろば名：子育て広場“えがお”

開設場所：林田・伊勢住民交流広場

「ふれあいセンター」

開設日時：毎月1回 第3木曜日 9:30～12:00

問合せ先：中播磨県民センター中播磨健康福祉事務所  
企画課

TEL：079-281-9209



## 声の力が注目されています

阪神北広域救急医療財団理事長・  
県立こども病院名誉院長 中村 肇

連載  
第129回

最近、聞く・話す機能をもつ人工知能（AI）搭載のロボットがどんどん進化しています。スマホに話しかけるだけで、道案内やいろんな情報を教えてくれるのには驚きです。

声は、いろんな情報を相手に伝えます。目を閉じて、声を聞いているだけで、相手の喜怒哀楽や健康状態もわかります。目も相手に多くのこと語りかけますが、声には自分の意思がより豊かに、より正しく反映されています。

自分が話している声の録音を聞くと、いつも聞いている自分の声とのあまりの違いに気づかれた方も多いと思います。自分が聞いているのは、耳から入ってくる空気の振動だけでなく、鼻腔や喉での振動（骨伝導）の両者を合わせたもので、他人が聞いている自分の声とは違うのです。

歌手やアナウンサーを目指さなくても、幼いときからしっかりとボイス・トレーニングを積み、自分の考えや思いを正しく相手に伝える学習が大切でしょう。